



1. 7月の輪紋病感染量は、「やや多い」予想です！

◆ 輪紋病が多発した昨年の発生要因：6月中旬～7月上旬の降雨（平年比 165%）

防除時期	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
胴枯病												
輪紋病												

※ 図中の矢印は、胴枯病（緑色）と輪紋病（黄色）の発生時期を示し、青い矢印は「輪紋病 重点防除時期」を示しています。

★ 薬剤散布は間隔の空きすぎに注意・雨前散布が基本

- ・ 薬剤散布は 10 日間隔が基本
- ・ 降雨が続く場合は、
前回散布からの積算降水量が、
100mmに達する前に次の薬剤散布を実施

★ 薬液が隅々まで到達しやすいように徒長枝を整理

2. カメムシの発生量も、「やや多い」予想！！

- ・ 気温や湿度の高い日に飛来が増加する傾向
- ・ 園内を十分に見回り、被害果や樹上の寄生に注意しましょう

★ 成虫や卵塊、被害果を見つけ次第薬剤散布！

※ 薬剤の選択は、最寄りの農業技術普及課にご相談ください



クサギカメムシ（左:成虫、右:幼虫、卵）

GI「山形ラ・フランス」の取組みにご協力ください



山形県「ラ・フランス」振興協議会は、
GI「山形ラ・フランス」の生産・出荷を推進しています
未入会の方は、ぜひご入会を！
取組みや入会方法の詳細は、県 HP をご覧ください ▶



※ご不明な点は、所属する出荷団体または下記連絡先まで

ラ・フランス情報

検索

山形県「ラ・フランス」振興協議会

【作成】山形県農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課 (TEL:023-630-2466)